

福岡医発第804号(地)

平成20年7月1日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 横 倉 義 武

(公 印 省 略)

微量採血のための穿刺器具（針の周辺部分がディスプレイタイプ
でないもの）の調査結果の公表（記者発表）について

標記について、本日 15 時に、福岡県行政より調査結果の公表が行なわれました。
本会としては、公表を担当した福岡県保健医療介護部には、県民の不安を煽り混乱
を招くような公表は絶対にしないよう厳重に申し入れておりました。

公表内容としては、「針の複数回使用については県下では無かった」ことが前提
となっておりますが、その他、キャップ等の複数回使用については、医療機関名も
公表されたことから、公表後は患者さん等から対象医療機関への問い合わせがある
ことが考えられます。

このことについては、原則として対象の医療機関が対応することになりますが、
まず、患者さんに安心いただくために、①直接感染の恐れのある針の複数回使用は
ないこと、②微量採血のための穿刺器具（針以外）の複数回使用による国内での感
染事例は1件も出ていないこと③かかりつけ医として今までの診察・検査等の所見
から感染の可能性は極めて低いこと、等をご説明し対応いただきますよう、会員へ
のご周知方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 毛利康茂
会長 丸山 泉